

# 見樹院ニュース

O T E R A NEWS  
第46号 2007年9月16日発行

浄土宗 見樹院  
住職 大河内秀人

〒112-0002

東京都文京区小石川3-4-14

TEL 03(3812)3711

FAX 03(3815)7951

▼新アドレス▼

Http://www.nam-mind.jp

E-mail: hit@nam-mind.jp

## いのちと未来を大切に生きる文化を

# 禅定

ぜんじょう

・・・みんなの幸せのために深く考える

この夏の暑さ、地震、そして台風と、自然と天候に苦しめられた数ヶ月でした。この経験を通して、あらためて地球温暖化の深刻さと、その原因ともなっている近代文明への不安と疑問を痛感しました。

そんななかで私の背筋を寒く

### 秋彼岸 見樹会総会のご案内

秋のお彼岸法要に合わせて、本年度の見樹会総会を開催いたします。皆様お誘い合わせてご参集下さい。

9月23日(日・秋分の日)  
午前11時～

- ◇彼岸会法要、法話
- ◇見樹会総会
- ◇事業報告／決算／事業計画／予算
- ◇今後の計画／その他  
(12時半終了予定)

したのは、昨年の日本の二酸化炭素の排出量が削減目標を達成できなかったことに対し経済界から、「環境も大切ではあるが、経済成長を止めるわけにはいかない」というコメントが出されたことです。つまり、「命より力ネが大事」だと言うのです。それを日本のリーダー的立場の人が堂々とやってのけた、それをニュースで聞いたことに、大変なショックを受けました。

そして、これを平気で言わせてしまう世の中を変えていかなければならないと、強く感じました。

ところが、多くの人は、「そうは言ってもしかたがないんじゃないか」とか「あんな偉い人たちが言ってるんだから大丈夫なんじゃないの」というあきらめや妄信、「別にさし当たって自分は困ってないから」という無関心といった反応です。

環境問題は、かつて公害問題と言われた頃とは違い、様々な要因が絡み合っているだけに、普通の人には複雑すぎて判断がつきにくいですし、普段は消費したり、ボタンを押すだけで享受している私たちの便利で快適な生活が、実際はどのようなしくみになっているかは見えにくいのが現実です。

しかし、重大な危機が迫り、今一瞬も大変な危険と隣り合わせに暮らしていることも、紛れもない事実なのです。それより現実に被害を受けている人、犠牲になっている命があることに眼を向けなくてはなりません。

(裏面に続く)

「お彼岸」とは、此岸《迷いの世界》から《覚りの世界》に到達するための修行の七日間というものが、本来の意味です。苦しみや不安から解放されるために、布施・持戒・忍辱（にんにく）・精進・禅定・智慧という六つの徳目の実践が勧められます。この秋の彼岸は、その中から「禅定（ぜんじょう）」に注目したいと思います。

座禅や瞑想のことですが、心を落ち着け、「我（が）」を超えて、みんなの幸せのために深く思いを廻らせることです。

### 「思考停止」を脱するために

今の時代、情報はたくさんあるようですが、深く考えるところが少なくなっています。テレビは、めまぐるしく変わる画面の中で、強烈なイメージを植えつけていきます。新聞や雑誌などの活字情報も、そういう文化に慣れている人々向けの構成になっています。そして、メディアという権威、あるいは頻繁にそこに登場する人のことば

を無批判に受け容れてしまいません。若い人々ほどその傾向が強いと言われています。

何が大切なのかと言うことへの感覚も麻痺しています。重大なことより面白いことが優先します。環境や外交や重要法案の審議など、命と未来にかかわる問題よりも、ワイドショー的な話題に視聴者はチャンネルを合わせ、本質や原因を追究しない

「思考停止」した人々は、論理より好き嫌いで判断しています。そうやって人々を支配しているメディアは、スポンサーで成り立っています。ですから大企業に不利な情報は流れにくくなります。少なくとも直接的に環境を破壊しているのは、人々の生活様式より、圧倒的に企業活動です。今、企業の社会的責

任が求められ、それも宣伝につながることから、植林事業などをPRするCMを眼にすることがあります。しかし、実はその事業が、現地の社会にマイナスの影響をもたらしている事例を私はいくつも見ていますが、当然ながらそのことは伝えられません。

企業がいけないと言っているのではありません。企業は利益を上げることが、株主に対する使命ですし、そのためには競争に勝たなくてはなりません。

そういう企業が、本当に良い製品をつくり、社会に有益な事業を行うようになるには、私たちがもつと目利きになり、何を買い、使い、どういう生活をし、何に一票入れるべきか、よく考え、判断することなのです。

### ■ホームページのアドレスが変わります。

近日中に順次移動していきま

ます。表面の住所の下をご覧下さい。

### ■現在帳台帳へのご記入をお願いします。

十数年前にご記入いただいた以来、古くなりましたので、よ

### 「フードマイレージ」

#### で二酸化炭素削減

「フードマイレージ」は、食べ物

の輸送により発生した二酸化炭素を計算し、近隣で生産されたものを消費することで、食生活から環境に貢献しようという考え方です。例えば、千葉産のホウレンソウを買えば、中国産に比べて一束で七八グラム、国産大豆の豆腐一丁は、米国産に比べ一五九グラムの削減になります。空輸や冷凍物などはさらに大きなエネルギーを要します。また、農薬や肥料など生産方法による違いもありますし、これが全ての判断材料ではありませんが、こうやって一つずつ考えていくことも必要だと思います。詳しくはインターネットなどで調べてみて下さい。

### ■今後の主な予定

十月十六日 川越参拝バス旅行  
一月二日 新年法要(修正会)